

参考資料

	ページ
実績編	
・ 連結 主要決算数値（11年度対10年度）	1
・ 個別 主要決算数値（11年度対10年度）	2
営業主要計数 内訳（11年度対10年度）	3
工業用ガス販売動向	4・5
見通し編	
・ 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	6
・ 連結 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	7
・ 個別 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	8・10
営業主要計数内訳（最新見通し対当初見通し）	9・11
営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	12

実績編

連結 主要決算数値(11年度 対 10年度)

第1四半期実績

億円

	FY11 1Q	FY10 1Q	増減		備考
売上高	3,767	3,664	103	2.8%	都市ガス+57(販売量減・単価増、うちエネオ+50)、その他エネルギー+88(電力+74)
営業利益	166	415	▲ 249	▲ 60.0%	都市ガス▲205、その他エネルギー▲6(エネルギーサービス▲7)
経常利益	163	414	▲ 251	▲ 60.5%	営業外損益▲1(持分法による投資利益▲5、為替レート差損益▲2、金利スワップ差損益+15)
四半期純利益	89	252	▲ 163	▲ 64.4%	

総資産	17,747	18,296	▲ 549	▲ 3.0%	流動資産▲436(未収入金▲473)、有形・無形固定資産▲80(設備投資255、償却▲356)、投資その他の資産▲33
自己資本	8,354	8,589	▲ 235	▲ 2.7%	自己株式取得▲210、配当金支払▲120、株式評価差額金▲16、当期純利益89、為替換算調整勘定+28
自己資本比率 (%)	47.1%	46.9%	0.2	—	総資産の減(▲3.0%)に比べ、自己資本の減(▲2.7%)が小さかったため上昇
総資本回転率 (回転)	0.21	0.20	0.01	—	
有利子負債残高	6,166	5,841	325	5.6%	東京ガス+216、東京ガスコーポレーション+83、東京ガスブルート+28
四半期純利益	89	252	▲ 163	▲ 64.4%	
減価償却(*2・3)	356	352	4	1.3%	扇島パワー+3、東京ガス+3
営業キャッシュ・フロー(*1)	446	604	▲ 158	▲ 26.1%	
設備投資(*2)	255	296	▲ 41	▲ 13.7%	扇島パワー▲65、東京ガスQCLNG+12、東京ガスコーポレーション+8、東京ガスブルート+7
1株当たり四半期純利益(円/株)	3.38	9.41	▲ 6.03	▲ 64.1%	四半期純利益減(▲163億円)により下落
1株当たり純資産 (円/株)	318.96	320.70	▲ 1.74	▲ 0.5%	

今期(2011年4月～6月)は連結70社(東京ガス+連結子会社64社+持分法適用関連会社5社)、前年同期は連結67社(東京ガス+連結子会社62社+持分法適用関連会社4社) FY10 1Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末数値を表示

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

個別 主要決算数値(11年度 対 10年度)

第1四半期実績

億円

料金スライドの収支への影響

億円

経済フレーム

	FY11	FY10	増減	
総売上高	3,256	3,177	79	2.5%
営業利益	94	339	-245	-72.0%
経常利益	164	407	-243	-59.6%
当期純利益	114	302	-188	-62.2%

	FY11	FY10	増減
料金によるスライド回収	-6	-113	107
原料費の増加分	230	7	223
差し引き	-236	-120	-116

	FY11	FY10	増減	
原油価格	114.96	81.30	33.66	\$/bbl
為替レート	81.71	92.01	-10.30	円/\$

金額は基準価格に対する増減額

億円

	FY11	FY10	増減		
製品売上高(ガス売上高)	2,679	2,669	10	0.4%	
営業費用	原材料費	1,547	1,373	174	12.7%
	(粗利)	(1,132)	(1,296)	(-164)	(-12.7%)
	諸給与	246	190	56	29.1%
	諸経費	551	539	12	2.3%
	減価償却費	259	256	3	1.2%
	LNG受託加工費	-11	-8	-3	-
計	2,592	2,351	241	10.3%	
受注工事収支	-5	-4	-1	-	
器具販売等収支	20	24	-4	-19.3%	
営業雑収支	15	20	-5	-26.1%	
附帯事業収支	-6	0	-6	-	
営業利益	94	339	-245	-72.0%	
営業外収支	69	68	1	2.3%	
経常利益	164	407	-243	-59.6%	
特別利益	-	36	-36	-	
特別損失	-	-	-	-	
法人税等	49	140	-91	-64.6%	
当期純利益	114	302	-188	-62.2%	

数量・料金構成差▲94億円、単価差+104億円

数量・原料構成差▲38億円、単価差+212億円(為替影響=▲159、油価影響=+258)

数量・構成差▲56億円、単価差▲108億円

退職給付数理計算上の差異費用+55億円 他

詳細は下表参照

器具収支 FH▲1億円、ガステーブル▲1億円 他

LNG販売▲4億円、電力販売▲2億円 他

前年度: TGエンタープライズ'合併による特別利益36億円

諸経費

	FY11	FY10	増減	
修繕費	79	75	4	4.6%
消耗品費	33	33	0	0.3%
賃借料	46	50	-4	-7.5%
委託作業費	157	150	7	4.8%
租税課金	104	103	1	0.4%
需要開発費	47	48	-1	-1.8%
その他	85	80	5	7.4%

本支管修繕費増+1億円、製造設備修繕費増+1億円 他

建物・施設賃借料減▲4億円 他

導管保安委託費増+4億円、営業関係委託費増+1億円 他

個別営業主要計数(11年度 対 10年度)

第1四半期実績

お客さま件数

千件

	FY11	FY10	増減	
お客さま件数	10,460	10,354	106	1.0%
新設件数	30	35	-5	-15.6%

個別ガス販売実績

百万m3

	FY11	FY10	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	97.1	103.9	-6.8	-6.5%	気温影響▲4.2m3(▲4.0%)、日数差+0.1m3(+0.1%)、その他増減▲2.7m3(▲2.6%)	
家庭用	858	911	-53	-5.8%	気温影響▲37百万m3(▲4.0%)、日数差+1百万m3(+0.1%)、件数差+7百万m3(+0.7%)、その他増減▲24百万m3(▲2.6%)	
業務用	商業用	377	431	-54	-12.5%	
	その他用	173	204	-31	-15.2%	
	業務用計	550	635	-85	-13.3%	気温影響±0百万m3(±0%)、その他増減▲85百万m3(▲13.3%)
工業用	発電専用	541	489	52	10.7%	
	発電専用以外	735	732	3	0.4%	
	工業用計	1,276	1,221	55	4.5%	
計	1,826	1,855	-29	-1.6%		
卸供給	513	510	3	0.5%	気温影響▲2百万m3(▲0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働増+5百万m3(+0.9%)	
合計	3,197	3,277	-80	-2.4%	気温影響▲39百万m3(▲1.2%)、発電専用+52百万m3(+1.6%)、工業用(発電専用以外)+3百万m3(+0.1%)、卸供給(気温影響除き)+5百万m3(+0.1%)、その他▲101百万m3(▲3.1%)	
(内大口供給)	1,514	1,501	13	0.9%		

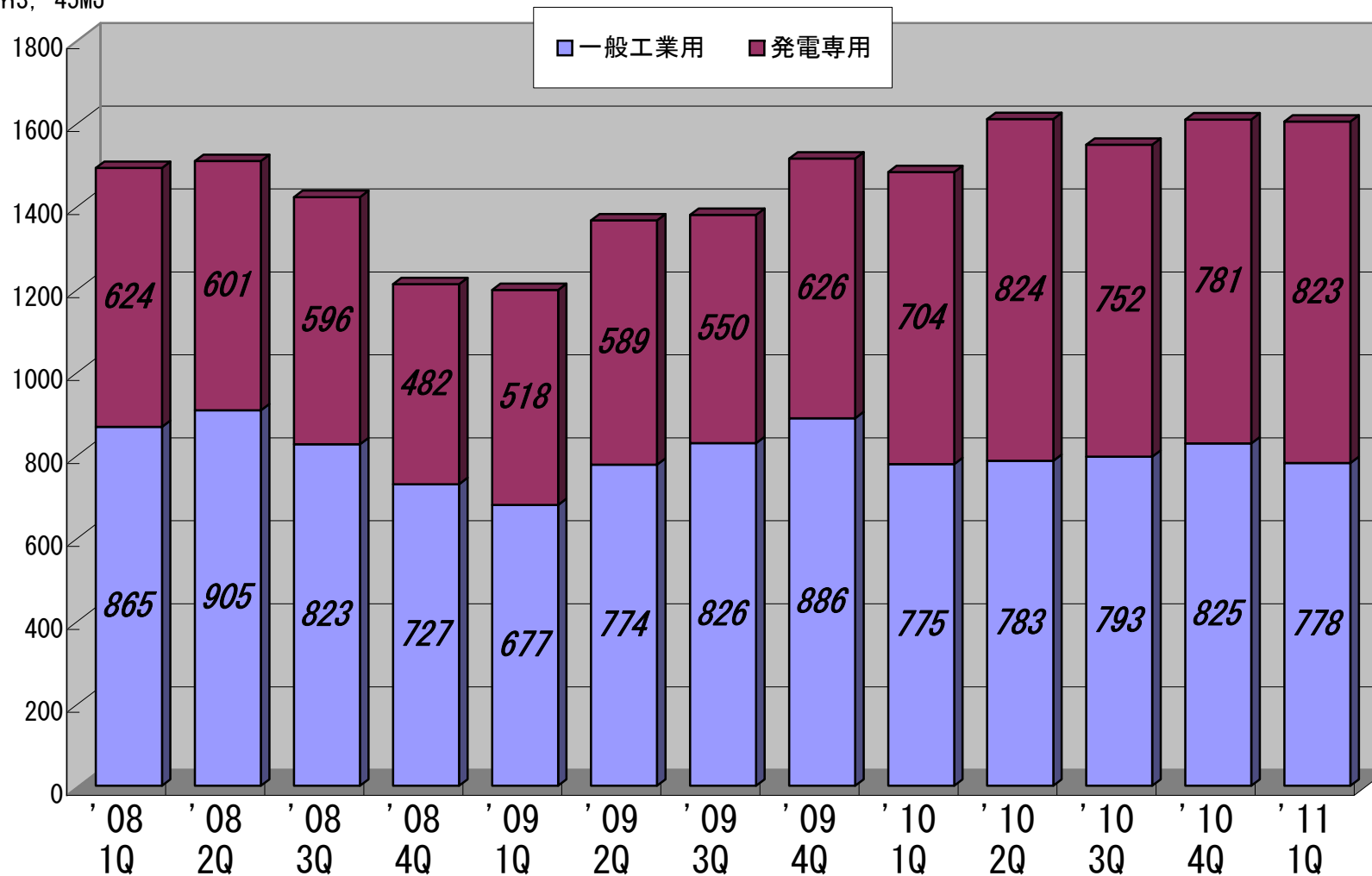
個別 工業用ガス販売動向 業種別内訳

	単位：百万m3 45MJ	11年度 第1四半期 (A)	10年度 第1四半期 (B)	増減 (A)-(B)	(%)	08年度 第1四半期 (C)	増減 (A)-(C)	(%)
一 般 工 業 用	食料品	124	122	2	1.7%	140	▲ 16	▲11.9%
	繊維	10	10	0	▲0.2%	9	1	4.1%
	紙・パルプ	42	51	▲ 9	▲16.4%	63	▲ 21	▲32.2%
	化学	166	167	▲ 1	▲0.5%	182	▲ 16	▲9.1%
	窯業土石	47	43	4	7.1%	42	5	10.2%
	鉄鋼	126	111	15	13.6%	147	▲ 21	▲14.5%
	非鉄金属	41	41	0	▲0.3%	38	3	6.6%
	金属機械	74	100	▲ 26	▲26.1%	116	▲ 42	▲36.1%
	その他製造業	104	88	16	20.5%	94	10	10.4%
小計	734	732	2	0.3%	831	▲ 97	▲11.8%	
発電専用	542	489	53	10.8%	590	▲ 48	▲8.0%	
計	1,276	1,221	55	4.5%	1,422	▲ 146	▲10.3%	

四捨五入等の関係で、計算が合わないことがあります。

連結 工業用ガス販売動向 四半期推移

百万m³, 45MJ



見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	FY11今回見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	112.48	110.00	111.24	\$/bbl
為替レート	80.86	80.00	80.43	円/\$
	FY11当初4/28見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	112.50	120.00	116.25	\$/bbl
為替レート	85.00	85.00	85.00	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-0.02	-10.00	-5.01	\$/bbl
為替レート	-4.14	-5.00	-4.57	円/\$

原油価格変動の年度収支影響感度

億円

1\$/bbl	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 13	▲ 5	▲ 2	▲ 20
原料	▲ 14	▲ 15	▲ 4	▲ 33
粗利	1	10	2	13

※油価が1\$下がった場合の収支影響額

為替レート変動の年度収支影響感度

億円

1円/\$	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 21	▲ 19	▲ 6	▲ 46
原料	▲ 20	▲ 21	▲ 21	▲ 62
粗利	▲ 1	2	15	16

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

連結 主要決算数値(最新見通し 対 当初見通し)

通期見通し

	億円				備考	第2四半期見通し			億円
	FY11	FY11当初	増減			FY11	FY11当初	増減	
売上高	17,050	17,520	▲ 470	▲2.7%	都市ガス売上高▲455(原料費調整制度に伴う売上単価減)	7,500	7,530	▲ 30	▲0.4%
営業利益	610	570	40	7.0%	都市ガス利益+51(原材料費減他)	20	90	▲ 70	▲77.8%
経常利益	580	520	60	11.5%	営業外損益+20(為替差益増他)	10	60	▲ 50	▲83.3%
当期純利益	370	330	40	12.1%		▲ 20	20	▲ 40	-
総資産	18,750	18,710	40	0.2%					
自己資本	8,370	8,330	40	0.5%	利益剰余金増+40(当期純利益増加)				
自己資本比率 (%)	44.6%	44.5%	0.1	-	利益剰余金増に伴う自己資本増により上昇				
総資本回転率 (回転)	0.93	0.95	▲ 0.02	-	売上高減(▲2.7%)により下落				
ROA(*2) (%)	2.0%	1.8%	0.2	-	当期純利益増(+12.1%)により上昇				
ROE(*2) (%)	4.4%	3.9%	0.5	-	当期純利益増(+12.1%)により上昇				
有利子負債残高	6,120	6,160	▲ 40	▲0.6%	東京ガス▲25				
D/Eレシオ	0.73	0.74	▲ 0.01	-					
当期純利益	370	330	40	12.1%					
減価償却(*3・4)	1,500	1,500	0	-					
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,870	1,830	40	2.2%					
設備投資(*3)	1,600	1,670	▲ 70	▲4.2%	TGQCLNG▲75				
TEP	▲ 43	▲ 82	39	-	経常利益増(+11.5%)により増加				
(WACC)	3.2%	3.2%	-	-					
1株当たり当期純利益 (円/株)	14.21	12.32	1.89	15.3%	当期純利益増(+12.1%)により上昇				
1株当たり純資産 (円/株)	323.82	321.77	2.05	0.6%	利益剰余金増に伴う自己資本増により上昇				
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-					

今期(2012年3月期)は連結70社(東京ガス+連結子会社64社+持分法適用関連会社5社)

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5)n年度総分配性向 = ((n年度の利益処分ベース配当金額)+(n+1年度の自社株取得額)÷(n年度連結当期純利益)

(*6)本中期経営計画期間(2009~2013年度)中における総分配性向の目標を、6割に設定している。

個別 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

上期見通し

億円

料金スライドの収支への影響

経済フレーム

	FY11	FY11当初	増減	
総売上高	6,530	6,580	-50	-0.8%
営業利益	-90	-10	-80	-
経常利益	-20	50	-70	-
当期純利益	-10	30	-40	-

	FY11	FY11当初	増減
料金によるスライド回収	183	282	-99
原料費の増加分	603	688	-85
差し引き	-420	-406	-14

	FY11	FY11当初	増減
原油価格	112.48	112.50	-0.02 \$/bbl
為替レート	80.86	85.00	-4.14 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

億円

	FY11	FY11当初	増減			
製品売上高(ガス売上高)	5,170	5,210	-40	-0.8%	数量・料金構成差+57億円、単価差▲97億円	
営業費用	原材料費	3,193	3,219	-26	-0.8%	数量・原料構成差+48億円、単価差▲74億円(為替影響=▲138、油価影響=+71)
	(粗利)	(1,977)	(1,991)	(-14)	(-0.7%)	数量・構成差+9億円、単価差▲23億円
	諸給与	486	486	0	0.0%	
	諸経費	1,098	1,026	72	7.0%	詳細は下表参照
	減価償却費	525	525	0	0.0%	
LNG受託加工費	-22	-20	-2	10.0%		
計	5,280	5,236	44	0.8%		
受注工事収支	-7	-6	-1	-		
器具販売等収支	37	39	-2	-5.1%	その他雑 超過補償収益減▲1億円 他	
営業雑収支	30	33	-3	-9.1%		
附帯事業収支	-10	-17	7	-	電力販売+10億円 他	
営業利益	-90	-10	-80	-		
営業外収支	70	60	10	16.7%	支払利息等減+4億円 他	
経常利益	-20	50	-70	-		
特別利益	-	-	-	-		
特別損失	-	-	-	-		
法人税等	-10	20	-30	-		
当期純利益	-10	30	-40	-		

諸経費

	FY11	FY11当初	増減		
修繕費	166	151	15	9.9%	本支管修繕費+6億円(震災影響流れ込み・復旧修繕等)、ガス栓事故対応費+4億円 他
消耗品費	70	59	11	18.6%	消耗品ガスメータ+9億円(前倒し執行) 他
賃借料	90	89	1	1.1%	
委託作業費	312	296	16	5.4%	システム関係委託費+5億円(前倒し執行) 他
租税課金	205	205	0	0.0%	
需要開発費	87	70	17	24.3%	需要開発手数料+9億円(安心安全巡回等)、イベント広告費+3億円(前倒し執行) 他
その他	168	156	12	7.7%	本支管除却費+3億円(震災影響流れ込み等)、供給管除却費+3億円(震災影響流れ込み等) 他

個別 営業主要計数(最新見通し対当初見通し)

上期見通し

お客さま件数

千件

	FY11	FY11当初	増減	
お客さま件数	10,481	10,488	-7	-0.1%
新設件数	69	76	-7	-9.3%

ガス販売量内訳

百万m3

		FY11	FY11当初	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		146.5	144.9	1.6	1.1%	気温影響+2.9m3(+2.0%)、日数差▲0.1m3(▲0.1%)、その他増減▲1.2m3(▲0.8%)
家庭用		1,297	1,285	12	0.9%	気温影響+26百万m3(+2.0%)、日数差▲1百万m3(▲0.1%)、件数差▲1百万m3(▲0.1%)、その他増減▲12百万m3(▲0.9%)
業務用	商業用	834	904	-70	-7.7%	
	その他用	424	487	-63	-12.9%	
	業務用計	1,258	1,391	-133	-9.6%	気温影響±0百万m3(±0%)、その他増減▲133百万m3(▲9.6%)
工業用	発電専用	1,153	940	213	22.6%	
	発電専用以外	1,526	1,477	49	3.3%	
	工業用計	2,679	2,417	262	10.8%	
計		3,937	3,808	129	3.4%	
卸供給		1,028	1,052	-24	-2.3%	気温影響▲2百万m3(▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働増▲22百万m3(▲2.2%)
合計		6,262	6,144	118	1.9%	気温影響+24百万m3(+0.4%)、発電専用+213百万m3(+3.4%)、工業用(発電専用以外)+49百万m3(+0.8%)、卸供給(気温影響除き)▲22百万m3(▲0.3%)、その他▲146百万m3(▲2.4%)
(内大口供給)		3,274	3,085	190	6.1%	

個別 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

通期見通し

億円

	FY11	FY11当初	増減	
総売上高	14,920	15,390	-470	-3.1%
営業利益	370	330	40	12.1%
経常利益	430	380	50	13.2%
当期純利益	300	270	30	11.1%

料金スライドの収支への影響

	FY11	FY11当初	増減
料金によるスライド回収	957	1,365	-408
原料費の増加分	1,430	1,924	-494
差し引き	-473	-559	86

経済フレーム

	FY11	FY11当初	増減
原油価格	111.24	116.25	-5.01 \$/bbl
為替レート	80.43	85.00	-4.57 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

億円

	FY11	FY11当初	増減			
製品売上高(ガス売上高)	11,930	12,400	-470	-3.8%	数量・料金構成差▲56億円、単価差▲414億円	
営業費用	原材料費	7,189	7,704	-515	-6.7%	数量・原料構成差▲20億円、単価差▲495億円(為替影響=▲370、油価影響=▲143)
	(粗利)	(4,741)	(4,696)	(45)	(1.0%)	数量・構成差▲36億円、単価差▲81億円
	諸給与	978	978	0	0.0%	
	諸経費	2,372	2,372	0	0.0%	詳細は下表参照
	減価償却費	1,096	1,096	0	0.0%	
	LNG受託加工費	-41	-40	-1	-	
計	11,594	12,110	-516	-4.3%		
受注工事収支	-4	-4	0	-		
器具販売等収支	60	60	0	0.0%		
営業雑収支	56	56	0	0.0%		
附帯事業収支	-22	-16	-6	-	LNG販売▲3億円 他	
営業利益	370	330	40	12.1%		
営業外収支	60	50	10	20.0%	支払利息等減+4億円 他	
経常利益	430	380	50	13.2%		
特別利益	-	-	-	-		
特別損失	-	-	-	-		
法人税等	130	110	20	18.2%		
当期純利益	300	270	30	11.1%		

諸経費

	FY11	FY11当初	増減		
修繕費	349	343	6	1.7%	ガス栓対応費+6億円 他
消耗品費	142	139	3	2.2%	
賃借料	179	179	0	0.0%	
委託作業費	639	643	-4	-0.6%	システム関係委託費▲1億円 他
租税課金	430	427	3	0.7%	
需要開発費	252	261	-9	-3.4%	イベント広告費等▲9億円 他
その他	381	380	1	0.3%	

個別 営業主要計数(最新見通し 対 当初見通し)

通期見通し

お客さま件数

千件

	FY11	FY11当初	増減	
お客さま件数	10,551	10,551	0	0.0%
新設件数	173	173	0	0.0%

ガス販売量内訳

百万m3

		FY11	FY11当初	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		382.5	380.5	2.0	0.5%	気温影響+3.0m3(+0.8%)、日数差▲0.4m3(▲0.1%)、その他増減▲0.6m3(▲0.2%)
家庭用		3,391	3,378	13	0.4%	気温影響+26百万m3(+0.8%)、日数差▲1百万m3(▲0.1%)、件数差▲1百万m3(▲0.1%)、その他増減▲11百万m3(▲0.2%)
業務用	商業用	1,679	1,813	-134	-7.4%	
	その他用	857	956	-99	-10.4%	
業務用計		2,536	2,770	-234	-8.4%	気温影響±0百万m3(±0%)、その他増減▲234百万m3(▲8.4%)
工業用	発電専用	2,215	1,923	292	15.2%	
	発電専用以外	3,002	3,067	-65	-2.1%	
工業用計		5,217	4,990	227	4.5%	
計		7,753	7,760	-7	-0.1%	
卸供給		2,204	2,233	-29	-1.3%	気温影響+3百万m3(+0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働増▲32百万m3(▲1.4%)
合計		13,348	13,371	-23	-0.2%	気温影響+29百万m3(+0.2%)、発電専用+292百万m3(+2.2%)、工業用(発電専用以外)▲65百万m3(▲0.5%)、卸供給(気温影響除き)▲29百万m3(▲0.2%)、その他▲250百万m3(▲1.9%)
(内大口供給)		4,788	6,262	-1,474	-23.5%	

個別 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

第1四半期実績 (11年度 対 10年度) 億円

	FY11	FY10	増減	
当期純利益	114	302	-188	-62.2%
減価償却	270	267	3	1.1%
営業CF(当期純利益+減価償却)	384	569	-185	-32.5%

上期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY11	FY11当初	増減	
当期純利益	-10	30	-40	-133.3%
減価償却	545	545	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	535	575	-40	-7.0%

通期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY11	FY11当初	増減	
当期純利益	300	270	30	11.1%
減価償却	1,139	1,139	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,439	1,409	30	2.1%

設備投資内訳

第1四半期実績 (11年度 対 10年度) 億円

	FY11	FY10	増減	
製造設備	24	14	10	66.3%
供給設備	145	147	-2	-1.5%
業務設備他	13	22	-9	-40.1%
計	183	184	-1	-0.7%

製造設備 : 扇島工場タンク建設+12億円他
 供給設備 : 需要開発関連+6億円、安定供給関連他▲8億円他
 業務設備他 : その他業務設備他▲9億円

上期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY11	FY11当初	増減	
製造設備	95	105	-10	-9.7%
供給設備	312	300	12	4.0%
業務設備他	88	87	0	0.5%
計	495	495	0	0.0%

製造設備 : その他製造設備他▲10億円
 供給設備 : 需要開発関連他+12億円

通期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY11	FY11当初	増減	
製造設備	254	252	2	1.2%
供給設備	717	702	15	2.1%
業務設備他	252	269	-17	-6.6%
計	1,223	1,223	0	0.0%

製造設備 : その他製造設備他+2億円
 供給設備 : 需要開発関連他+15億円
 業務設備他 : その他業務設備他▲17億円

東京ガス株式会社

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油
価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への
東京ガスの対応等があります。